

パソコン操作の世界大会で入賞

富良野緑峰高校3年 中村 彰宏 さん

情報ビジネス科に在籍。同高校で取得できる資格はすべて取得(ほとんどが1級)。小学1年のときに、父親が買ったパソコンに興味を抱き、パソコンの授業では、クラスメイトのお手本となり、先生とともに指導することもしばしば。



▲世界大会で入賞した中村彰宏さん ▶日本代表の5人
※写真オデッセイコミュニケーションズ提供

MOS世界学生大会「エクセル部門」で14位

現在、富良野緑峰高校情報ビジネス科に在籍する中村彰宏さんは、7月29日から8月1日にかけて米国ラスベガスで行われたマイクロソフト社のビジネス用ソフト「オフィス」の操作技術を競う「MOS世界学生大会」に出場し、表計算のエクセル2010部門で14位に入賞。世界53カ国、延べ52万人の学生が出場する中での入賞という見事な成績を収めました。中村さんは、「とても貴重な経験ができました」と充実した表情を浮かべていました。

同大会は、国際的に活躍できる人材の育成を目的に開催されており、今年で10回目。中村さんは、国内大会で優秀な成績を収め、延べ6万5千人の参加学生の中から日本代表に選ばれました。代表5人中、高校生はただ一人。また、北海道初の代表となりました。

市では、この世界大会出場の功績を称え、中村さんに「特別奨励賞」を授与しました。

中村さんは、資格の取得を考え、富良野緑峰高校に進学。そ



市長から富良野市特別奨励賞を授与

して、同高校で取得できる資格試験のすべてに挑戦し、そのほとんどで1級を取得。さらに、進学や就職に役立てようと、得意だったパソコンの資格試験「MOS(マイクロオフィスペシャリスト)」を取得しました。中村さんは、「資格取得が好きだったのと、普通教科が苦手だったので、緑峰高校の情報ビジネス科に進学を決めました。得意分野を伸ばすことができ、自分には合っていると思います」と話すように、しっかりと自己分析から、進学先を選び、長所を伸ばしてきました。今後については、「人に教えられるように、技術や知識を深めていきたいです」と話していました。